

内田樹×小松秀樹

医療崩壊の文化論

警告はされてきましたが、予想以上のスピードで医療崩壊が進行していて、正直、途方にくれてしまいます。こういう時こそ有識者の出番。一体何が問題で、どうすればよいのか、昨年の小林秀雄賞受賞者である内田樹・神戸女学院大教授と、『医療崩壊』の著者である小松秀樹・虎の門病院泌尿器科部長のお二人に対談していただきました。

第1回

『健康』は体に悪い

内田 実は先生の『医療崩壊』が出て、すぐに買って読みました。危機的な状況、特に勤務医がどんどん開業して残された医師が過労死しそうになっていることが書いてありま

した。どうすれば医師を辞めさせずに済みますか。
小松 まずは、現場での軋轢あつれきを少なくすることでしょう。しょっちゅう患者との間で軋轢があるので、それを軽くす

るのが何よりだと私は思いますね。

内田 お医者さんが困るのはどういう人ですか。

小松 死なないと思っっている人です。病気が絶対に治るもんだって。治らないって伝えられても治るという前提で説明を求めて、時に怒り始めたりするんですよ。

その死なないつもりの人たちを病院が引き受けていて、今は90%近くの人

が病院などで自宅外の施設で亡くなるんですけど、その過程に家族がほとんどかかわらない。以前は看護師の数が足りなかったから家族が付き添ったりしてたんですよ。それが30年くらい前に、完全看護だから一切家

族は付くなっていうことになつて。今は少し良くなつてますけど、家族の方も付き添いしない方が楽だから、病院は自分が一緒に面倒みるところという意識がなくなつて、文句を言うところになつちやつた。

内田 何でなんでしょうね。

これは養老孟司先生の受け売りですが、都市の人間はみんな死なないと思つているから、死体が出た瞬間にどうしたらよいか分からなくなる、いかに死体を目から遠ざけるかというこのために都市の装置はできているつていう話でした。病院で死ぬつてのは、いかにして社会から死体を遮蔽しへいするかってことですよね。

小松 死体も遮蔽するし、障害者も見ないようにしてます

よね。昔は街に頭のおかしい人が結構いて、凶暴な人はそれなりに遠ざけられてましたけど、そうじゃない人は子供の遊び相手だったんですよ。
内田 東京の私のうちの近所にもいましたね。障害者はみな施設に入つちやつたんですよ。

小松 一時期に比べれば出てきてますけど、一時期は本当に社会の中には健全な人しかいないんじゃないかというぐらいになつてました。

内田 僕は妹が精神薄弱せんとくだったので長いこと施設でボランティアしてました。その子たち連れて遠足に行つたりすると本当にね、世間の健常者たちが、精薄の子たちに、どれだけ意地悪な視線を浴びせるかっていうのがショックでし

たね。20人くらいで小田急線に乗つた時も、若いカップルのうちの女のコが、その子たちを見た瞬間に「きゃっ。なんで電車なんか乗せるの。信じられない」つて叫んでね。信じられないのはお前の方だと思っちゃだね。

小松 本当にウソがまかり通つていて、むちゃくちゃになつていきます。
内田 たぶん『弱者は行政が救済せねばならぬか、○×』と言つたら○するような人だと思つてますよ。だけど自分のそばには来てほしくない。ここでは来ないで、自分ではない誰か別の人がそういうことをやるべきだ、つてい

小松秀樹

こまつ・ひでき●虎の門病院泌尿器科部長。1949年香川県生まれ。東京大学医学部卒業。同大学病院を含む都内8病院で勤務後、83年に山梨医大助教授、99年から現職。主な著書は『医療崩壊』(朝日新聞社)、『医療の限界』(新潮新書)。

内田 樹

うちだ・たつる●神戸女学院大学教授。1950年東京都生まれ。東京大学文学部卒。東京都立大助手を経て神戸女学院大へ。専門はフランス現代思想、映画論、武道論。著書極めて多数。07年、『私家版・ユダヤ文化論』(文春新書)で小林秀雄賞を受賞。

病気は絶対に治る。死なない、と信じる人。医者には困る。(小松)



う。なんでもそうなんですよ。別のヤツがやれてね。
小松 リアリティを持たせるために、教育として現場を見せた方がいいんじゃないかな。小さいころから。

内田 人が死ぬところを見る。
小松 それからハンディキャップを持った人がいっぱい世の中にはいるんだってこと。自分も、どうせそうなるんだってこと。

内田 間違いなく全員死ぬんだし、間違いなく全員年老いて、非常に高い確率で病になり、非常に高い確率で障害者になるわけですからね。だったら、なんで差別するの。自分がなるかもしれないんだから、健康なうちに自分がそうなった時に尊厳を持ってハッピーに生きられる社会システムをあらかじめ用意すべきなのに。今自分が健康であるって理由だけで、そうじゃない者に対して非常に不利な待遇を受けるような社会シ

ステムに同意するっていうのは、本当に不合理ですよ。

元に戻すのか 受け入れるのか

内田 僕は武道をやっているんですけど、そのお師匠さんがよくおっしゃるのは「病は治すものじゃなくて、一緒に生きてくものだよ」って。

この間、杖の稽古をしていて、たとえ話で「うちの道場に歯医者先生がいるんだけど、彼が言うには合気道をやっている人は入れ歯が合うんだそうだよ。合わない人は何回作り直しても合わない。合う人は一発で合う。」ということはいれ歯が合う合わないというのは、口腔の解剖学的な問題は関係ないんだね、マインドの問題らしいよ。道具を使うのも一緒だよ」とおっしゃっていて、なるほどねえと思っ

てね。
 入れ歯って異物ですよ。その異物に対して、ああ口の

機能の不調に対する構え方 受け入れるか 困る、治せしと言おうか。

(内田)

中に違和感があるなあというのをずっと思っていて、作っても作ってもこれ合わないこれ合わないと言っている人と、口にカパッと入れた瞬間に、ウン、これでいいですっていう人とはね、結局何が問題かっていうと、その人と外界とのインターフェイスです。その人の自我と自我の外側にあるものとのインターフェイスが、ソリッドな人とフレキシブルな人とで、たとえば自分の体の部分が機能不全になった時に、それを所与の条件として受け入れて、生活習慣とか身体運用とか変えていける人と、とにかく困る元通りにしろと言う人とは、機能の不調に対する構え方が

全然違うと思うんです。それを直せば、たぶん医療の負担って減るような気がするんですけどね。

小松 アメリカ的になってきたのかな。アメリカでは、白人男性が競争を一番やっていて一番自殺も多いんです。それで白人男性って、ものすごく健康願望が強く、何か悪いところがあったら取り換える、奥さんもキレイじゃなくなったら取り換えるというように。

内田 そうでしょうね。臓器移植とかが出てくるのも、あるべき自分の健康体つてのがあって、欠損があったら何とかそこを元に戻そうとする。でも、欠損したら欠損したの

が自分である、それで何ができるかしらっていうね、悪くなったら悪くなったなりに生活習慣を変えていけば日常生活でそれほどの不愉快なんて感じずに生きていけるわけですよ。

小松 アメリカは、職業召命説と予定説っていうカルバン派の教えの影響があつて、金銭欲を神の認めるものにしてしまった。だから、ものすごく金儲けが好きで、しかもそれが個人対個人の徹底した競争になつていて、そのために勝つた経営者は従業員の千倍くらいの給料を勝手に取っちゃうわけですよ。

自分の能力が決定的に重要なんです。能力に信頼を置いて、能力をひけらかして、下

から地位を脅かそうとする者に対しては差を見せつけて、それによって自分を保つわけですよ。だから能力がなくなること、ものすごくい恐怖があつて、それが病気の概念まで広げてると思います。

私の師匠で大井玄さんという人が、よく痴呆のことを書いてるんです。アルツハイマーってのは若いうちからボケちゃうので病気なんです。その概念が広がっていつて老人性の痴呆まで病気になって、そうしたらアメリカで過去に統計上ほとんどなかったのに、あつという間に増えたそうなんです。病気はつくられるんですよ。

そんな普通の現象ですよ。普通の現象が我慢できない。

競争社会では 能力のなくなる ことが恐怖。 病気の概念も広がる。

(小松)

それを社会側が受け入れるかどうか。痴呆の老人が幻覚や妄想や夜間せん妄といった精神症状を起こすのは社会と軋轢があつた時なんです。で、軋轢がないところでは純粹痴呆つてのがあつて、満足してニコニコ笑いながら痴呆になる。

痴呆つてのは、ちょっと前のことの記憶がなくなるわけ、すごく不安があるんですよ。ね、「さつきも同じこと言つたじゃない」というようなことを言われて精神的にキツくなると、ややこしくなってくるんですよ。

でも沖縄の農村だと、沖縄って敬語が重層的にあつて、最上級の敬語とか二番目の敬語とか三番目の敬語とかあるんですよ。で、年寄りほどんなにボケていても最上級の敬語を使われる。その人たちは純粹痴呆で機嫌よく農村を闊歩しているらしいですよ。

内田 正しいですね。一番コ

ストが安い。
小松 やたら健康ばかり求めること自体が大間違いですよ。80過ぎのおじいちゃん、PSAっていう前立腺がんのマーカールって4までが正常なのが5とか6になつたて来るんですよ。前立腺がんがあるんじゃないかって。

確率的に多分ありますよ。あろうがなからうが、治そうが治すまいが、そのうちお迎えの来るのに変わりはありませんよ。根治しなくても残り余命に関係ないからあつたつていいんですよ、つて言うともみんなニコニコして帰るんですよ。いや安心しました、つて。健康を守らないといけないと思わされるのが不幸なんです。

内田 健康つていう概念は本当に健康に悪いですよ。でも結構みんな健康好きですよ。宗教なんですかね。

小松 宗教かもしれませぬ。